

本川越駅～西武新宿駅（往復） 4K60P 撮影作品



ANRS-72421B/ 本編約 126 分 **5,500 円**（税込）
ANRS-72420 / 本編約 126 分 **4,950 円**（税込）

■撮影日 / 2025 年 3 月 30 日（日）晴時々曇 ■車両 10000 系ニューレッドアロー号
■区 間 / 本川越（10:00 発）⇒ 西武新宿（10:45 着 -11:00 発）⇒ 本川越（11:45 着）

◆特典◆ 南入曽基地→本川越、本川越→南入曽基地の回送運転を収録

■ 本編の概要 ■

本川越を発車すると、すぐに眼前を走る東武東上線と JR 川越線の橋りょうをくぐり抜ける。脇田信号場までの約 1km は新宿線では唯一の単線区間となる。郊外都市の趣がある狭山市内を走り抜けると、南入曽車両基地が広がるが、この基地は狭山市と所沢市にまたがっている。池袋線と接続する所沢を出て、柳瀬川を渡ると東京都に入り、東村山の前後は高架化工事が進行中で過渡期の様子も窺える。東村山を発車すると、高田馬場までノンストップ運転となり、途中駅で下位列車を待たせて次々と通過して行くシーンは圧巻だ。野方から中井にかけては地下化されるため、近い将来に地上を走るシーンは見納めになる。JR 山手線を抜けて向きを西に変えながら、急勾配を駆け上がると高田馬場で、JR 山手線と並走しながら、終点の西武新宿へ向って行く。運転室内の操作音、運転士の喚呼音、および車内放送も収録しています。

◆ 展望本編（本川越 ⇒ 西武新宿）の主なキャプチャ画像 ◆



本川越を発車。すぐに東武東上線と JR 川越線をくぐり抜ける。



脇田信号場からは複線区間となる。本川越～脇田信号場は新宿線で唯一の単線区間だ。



狭山市に停車中。同僚の「小江戸」号とのすれ違い。



入曽～新所沢間にある南入曽車両基地。10000 系もこの基地に所属している。



新宿線と池袋線とのジャンクション駅となる所沢。5 線あり規模が大きい。



埼玉県と東京との境となる、柳瀬川を渡る。（所沢～東村山）



東村山の前後は高架化工事が行われており、過渡期の様子が窺える。



東村山駅も高架工事の真っ只中！ここを発車すると高田馬場までノンストップ運転だ。



右から拝島線が近づき、複々線のように並走し小平へ向って行く。（久米川～小平）



沿線の桜が満開の区間もあり、春たけなわを感じさせられる。（小平～花小金井）



上石神井車両基地が広がる。今は車両留置にのみで、所属車両はない。（上石神井～上井草）



野方～中井は将来地下化されるため、その工事が着々と進められている。（野方～沼袋）



先行する下位列車を待避させ、次々と駅を通過していくのが特急の見どころだ。（中井）



山手線を抜け、急勾配を駆け上がると高田馬場に着く。（下落合～高田馬場）



並走する山手線には新大久保駅があるが、西武側には駅はない。（高田馬場～西武新宿）



終点の西武新宿に到着。他の鉄道会社の「新宿」駅に比べると、駅の規模が小さい。

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承ください。

■ キャプチャー画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。